

(様式6-2)

所属学校名 三重県立桑名西高等学校
職・名前 教諭・城 利英

研修成果概要

- 1 事業の名称 平成29年度教員長期社会体験研修
- 2 研修先の名称 株式会社 ガンバ大阪
- 3 研修成果の概要

1年間の社会体験研修では学校組織とは全く違った組織を見せていただいた。

学校の中では学力の高い生徒から低い生徒、運動能力が高い生徒や低い生徒、コミュニケーション能力が高い生徒や低い生徒など、あらゆる生徒が一つの学校に通っている。いずれの学校においても、その状況の中で子供たちに平等に指導していくことが求められる。

今回研修をさせていただいたプロサッカークラブの組織の中では、サッカーのプレーで高いパフォーマンスを発揮するのは選手個人の責任にかかっているところは大きい。しかし、そのパフォーマンスを発揮するためのアドバイスや指導を、それぞれの能力を有する選手個人に照準を当てて細かく指導していることに違いはなく、むしろ個々の選手に対して、緻密な指導計画の下、長期的な視点に立ちつつも、各選手を主体的に育成するための指導を行っている点に驚かされた。重要なことは、個々の選手の意思決定を最大限尊重しながら、チーム力の向上を図っているということである。

同様に考えると、学校教育の現場において、授業中であれ放課後の部活動の指導であれ、サッカーというチームプレーによる運動競技の指導を通じた生徒の育成を勧めていく場合、個々の生徒に対して細かく指導することはもちろん大切であるが、生徒一人一人の行動選択や意思決定の場面を奪ってしまつては、本来生徒が持ち得ているゲームを組み立てる能力を最大限に活かすことができるような成長はないと考える。

今後はある程度のリスクを予想しつつ、個々の生徒が考える部分を大切にしながら、子供たちが自立していけるように指導していくことが学校教育の中で意識して行くポイントになると考えている。